

浦高スポーツ環境等整備応援プロジェクト

素晴らしいハートとソフトにふさわしいハード整備を！

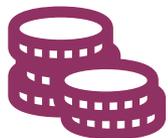
趣旨

- 現役生徒の授業や部活動、課外活動の充実、および副次的効果として地域活動の充実も目指し、浦和高校のスポーツ環境等の改善を応援（後押し）するために活動します。
- この取組みは、国内の公立学校教育環境の貧弱さを改善し、グローバルスタンダードの環境で子ども達を育てることに貢献するものです。



浦和高校が1995年に姉妹校となったウィットギフト校の全景
土のグラウンドはどこにも見当たらず、どこまでも緑が広がる

プロジェクトで取り組むこと



スポーツ環境等整備 支援の財源確保

環境整備および維持管理、更新を確
実なものにするために様々な財源の
確保を図ります



プロジェクトの主旨、 効果に関する啓発

賛同者を集めるための
情報発信に努めます



スポーツ環境等整備の提案

授業や部活動とあわせて、
地域のニーズを反映しつつ、
維持管理に民間のノウハウを活かす
整備を提案します。

01

埼玉県教育環境整備基金の活用

02

各部OB会活動からの支援

03

地域開放事業による収入確保

04

toto等助成金の確保

05

その他

財源の確保の提案

情報発信・啓発／環境整備の提案



情報発信・啓発

ホームページ、SNSによる発信
同窓会報等への掲載



環境整備の提案（例）

西側グラウンドの人工芝化やLED照明の整備
プールの通年利用にむけた改修
体育館・柔道場・剣道場へのエアコン設置
野球場の芝生化
屋外トイレやシャワールームの整備 等

西側グラウンドの改修に関する提案

- 整備内容
 - 人工芝化
 - LED照明
- 整備効果
 - 授業の安定運営
 - 稼働率の向上
 - 生徒の怪我防止
 - 土埃被害の減少
 - 近隣への迷惑
 - 生徒の健康被害
 - 競技力向上
 - 地域利用の活性化

図8 LP人工芝導入後の満足度



月刊体育施設 2011年増刊号より



西側グラウンドの人工芝化等 整備および維持管理に関する財源（案）

■ 支出

■ 整備費

0.7~2.0億円

■ 埼玉県教育環境整備基金

ふるさと納税制度を適用

個人 5万円/人 × 2,000人(4年間)

企業 200万円/社 × 25社

■ スポーツ振興くじ助成 4,800万 等

■ 維持管理費 6千万円/10年

■ 人工芝張り替え

■ メンテナンス

■ 出資者への情報提供

■ 地域利用による収入

600万

1,000円/人月×50人×12ヶ月×10年

■ 期成会費増額分

1,200万

100円/人月×1,000人×12ヶ月×10年

■ スポーツ振興くじ助成

4,000万

■ その他 + αの工夫

200万

✓ 企業スポンサー

(20万円×10年)

✓ OB会からの寄付

✓ イベント収入

埼玉県教育整備基金と 受益者負担を組み合わせた事業推進の仕組みの案

■ 県教育環境整備基金

- 1事業あたり1申請
- 最長5年間の募集期間
- 他用途への流用や積立は不可
- ふるさと納税枠が利用可
 - =同じ人から毎年寄付が期待できる
 - =卒業生以外からの寄付も期待できる
 - =年代に関係なく寄付が期待できる

■ その他の収入

- 小口ではあるが、独自資金として積み立てられる
- 助成金・補助金と組み合わせることができる（自己負担分の原資になる）
- 寄付控除等は該当しない
- 損金計上できる仕組みづくりなどが必要

金額の大きい施設改修
（数年に1度程度）

助成金利用の原資や
維持管理経費に充当

スケジュール案

- 2019/8月末 県教育局からの回答
- 9月6～7日 浦高祭において広報活動
HP、SNS、地区同窓会等にて情報発信
製品選定、運用方式検討など
- 2020/3月末 同窓会会報にて広報
- 5月 同窓会総会にて中間報告
- コロナ禍による活動抑制により 目標年次再検討

グラウンド環境改善 (芝生化等) の狙い

生徒の安全・安心向上と 授業や行事の計画的運営

怪我防止



- 体育や部活動における怪我が大幅に減少します。

病気防止



- 砂ぼこりがなくなることで、角膜炎などの病気の発生が減少します。

情緒安定



- 芝生化をした多くの学校で児童や生徒の情緒の安定が報告されています。

12

授業運営の 安定化



- 降雨後でも、グラウンドはぬかるまず通常に利用ができます。
- これにより天候の悪化による授業や行事の延期などが減少します。

体育・部活動のパフォーマンスの向上 家庭の負担低減

技術向上



- サッカーやラグビーなどは本来芝生の上で行うスポーツです。スライディングをしたり転んでも怪我の恐れが小さくなることでプレイの質が変わり技術の向上が期待できます。

体力向上



- 芝生の上で思い切り体を動かすことが多くなります。
- これにより、これまで芝生化を進めてきた学校でも子ども達の体力や走力の向上が認められています。

買替負担 軽減



- 土のグラウンドに比べてスパイクの減りや痛み、ウェアの痛みが大きく減少します。

洗濯減少



- 泥汚れがなくなることで、ご家庭での洗濯の手間が激減します。

地域の住環境改善・

コミュニティの活性化・スポーツ実施率の向上

稼働率向上



- 気象条件の影響を受けず利用できる時間が増えることで、地域の皆さんが利用できる時間を増やすことができます。
- 利用者には受益者負担として維持管理費について相応の負担をお願いしていきます

交流促進



- プロジェクトでは、授業が部活動に支障の無いように留意しながら、地域の皆さんやOBの方々が参加する場を増やし、スポーツをととした多年代の交流を促進します。

砂塵対策



- これまで地域の方にご迷惑をおかけしてきた砂ぼこりや、雨天時の泥水の流出がなくなります。

埼玉県教育環境整備 基金の仕組み

県条例に基づく 趣旨と仕組み

主旨)

- ① 県立学校の更なる特色化や地域社会と連携した学校づくりを推進すること
- ② 閉校した学校施設の売払代金の一部と、県民・企業などからの寄附金を活用し、教育環境の整備・充実を図ること

原資)

以下の2点を原資として基金に積み立てられます

- ① 閉校した学校施設の売払代金の一部
- ② 個人・団体・企業の皆さまからの御寄附

活用)

- ① 学校が自ら知恵を出して「教育環境整備充実プラン」（特色化プラン）を策定します。
- ② **各学校が寄附を募り、目標額を達成した時点で予算事業化し、プランを実施します。**

寄附の種類)

寄付には以下の2種類がありますが、今回は寄付Bの仕組みを使います。

寄付A：特定の県立学校を指定しない寄附

寄付B：特定の県立学校を指定して寄附

税制上の優遇 措置と手続き

税制上の措置)

個人の場合：ふるさと納税制度が適用できます

法人の場合：全額を損金に算入することができます

手続き)

(1) 金融機関の窓口

- 所定の寄付申込書を記入の上、お近くの金融機関（ゆうちょ銀行を除く県内すべての銀行、信用金庫、信用組合、農業協同組合）の窓口でお振込みください。

(2) Pay-easy（ペイジー）

- 電子申請（埼玉県申請・届出サービス）により、寄附申込書を届出し、ペイジーでお振込みください。具体的な方法は、「ペイジーによる寄附方法」を確認してください。
 - ◆ ペイジーとは、インターネットバンキングや銀行ATMで振り込むことができるサービスです。
 - ◆ インターネットバンキング、ATMで納付できる金融機関は、「埼玉県公金を納付できる金融機関について」をクリックしてください。
 - ◆ 携帯電話・スマートフォンからの電子申請は、平成29年11月1日から御利用いただけます。

(3) クレジットカード

- インターネットサイト「Yahoo!ふるさと納税」、「ふるさとチョイス」からクレジットカード決済で御寄附いただけます。県が寄附を確認した後、寄附証明書を後日郵送いたします。

ふるさと納税 について

- 地方公共団体へ寄附をした場合、寄附金の一定額までがお住まいの地方公共団体の住民税と所得税から控除される制度です。